

クトゥルフの呼び声

# Call of Cthulhu

## 京都哀妖変

シナリオ集 by 偉鷹 仁

### 座敷童

～ただ、そこにある<もの>～

朱月 幻峰 25才 男  
身長 176m 体重 53kg 血液型 A型

生年月日 1974年12月3日 射手座  
東ノ宮家の顧問弁護士。朱月法律事務所を経営しており、彼自身、術士としての初歩の手ほどきを先代の本家当主から受けています。かなり知識も豊富ですが、探索者たちに積極的に協力する気はありません。

桂木 天 15才 男  
サイキックヒーリング能力を持つ、京都南中学校に通う中学三年生。まわりあまりまともな大人がいなかったためか、偏屈な性格です。剣道をやっており、木刀・竹刀の腕はかなりたち、スキルにして80%ほどです。ここへはやはり遺産の相続目当てに親に命じられて一人で来ています。最初は非協力的ですが、事件が起こり始めてからは探索者の指示に従うこともあります。

東ノ宮 省吾 42才 男  
サイコメトリー能力を持つ、東ノ宮分家第2位の現当主。事件で第1に発見される犠牲者となります。選民思想に固まった男で、他の者達を見下しています。死因は屋根の上にある家紋に挨拶しているとき、転落して、下にある柵に串刺しになります。落ちる途中で桜の枝を引っ掛け、口に刺さった状態になります。

東ノ宮 千秋 享年22才 女  
2年前に死んだ、東ノ宮分家第1位の娘。死因は表向き心臓発作という事になっているが、実は「鬼迎の行」、つまり今回執り行われる儀式を強行して「消滅」しました。その後自我の崩壊した亡霊となり、敷地内をさまよっています。誰かが一人になると、鏡に写ったり、背後で気配がしたりします。髪は少しウェーブがあったロングヘア、亡霊として現れる時には顔が髪で隠れています。殺人が起こった現場には「にたあ」と笑ってあらわれています。

東ノ宮 あやめ 126才 女  
東ノ宮分家第一位の現当主です。亡くなった本家当主には及ばないものの、彼女もかなりの術士ですが、今回の「鬼迎の行」に関するお膳立て(力発現のため結界の作成)で全ての力を使い果たしてしまいます。

真田 操 23才 女  
あやめのもとで働く女中。幼い頃タンクローリーとの交通事故で身内の一切を失い、身寄りのない彼女をあやめが引き取りました。彼女の顔全体にはその時負った火傷のあとがあり、手ぬぐいや何かで常に隠しています。また、声も失っており、しゃべることができません。犠牲者の順番としては1番目ですが、実際に発見されるのは4番目になります。その間死体は、冷蔵庫に入っていますが、奥に隠してあるので、あさらないとできません。発見時には杉のまな板に首が乗った状態で発見されます。髪型はセミロング。

東ノ宮 一美 23才 男  
千秋の婚約者だった男です。彼女が「消滅」したときからしばらくして失踪しましたが、復讐のために操に化けて入り込こんでいます。彼はわざわざ操に化けるため、顔を硫酸で焼き、化けています。もと

シナリオ6「座敷童～ただ、そこにある<もの>～」

## イントロダクション

数年前に崩壊した「東ノ宮」本家。今もその残骸を中天にさらして、瓦礫の積み重なった空き地のままである。

「東ノ宮」の分家頭の屋敷で一人の娘が叫んでいた。「あたしがやるわ！ 格下の家なんか大きな顔されてたまるもんですか、祖母のあやめが止めるのでも聞かず、彼女は儀式を執行した。

彼女の名は東ノ宮千秋。分家第1位の一人娘であり、幼い頃から「そう」育てられたために「家のため」という行動が最優先となっている。

そうして「鬼迎の行」に挑んだ娘は二度と戻ることはなかった。

わらべうたを歌う気の触れた老婆  
送るもの  
迎えるもの  
待つもの  
そして、ただ、そこにあるもの

物語はこれからはじまる。恐ろしい、恐ろしい物語が.....。

## プレイヤー用情報

東ノ宮第一位の分家で当主が危篤状態になり、親戚筋の人間が集まっています。場所は京都の北側に位置する山あいの屋敷です。本家当主は10年以上前に死んでおり、後継ぎもその後他界しています。そのため「ある儀式」を執り行い、次期当主の選抜を行うということで集まっている親戚達はほとんど欲の皮をつっぱらさせた人達、またはその人達に命じられてきた人です。遺産相続の条件は、この儀式に受かった者の家のうち「迎えるもの」と認められた所は本家を相続することが、「送るもの」として認められた場合は分家第1位を、「待つもの」の場合は分家第2位として格を、各家から一人ずつ参加、付き添いは自由ということです。

探索者たちは、この家の遠縁にあたるか、親族の誰かから頼まれて一緒に来るもの、または近所で車が故障した、千秋の友人で旅行に来たついでに焼香しに来たなどの理由で、ここに泊まることになります。

東ノ宮 澪 16才 女  
セカンドサイト能力を持つ、私立清澄学園に。通う高校一年生。驚くほどの美少女というわけではないが、それなりに整った顔立ちをしており、なにより愛嬌があります。髪型は腰までのストレートのロングヘア。遺産には興味ありませんが、親に言われてここに泊まっています。本人は知らないが彼女は「待つ者」であり憑依体質者です。性格的に気弱であるため、分家屋敷に集まってくる亡霊達にいちいち怯えることとなります。探索者の幾人かは彼女に頼まれて一緒に来ているでしょう。女子高生らしく、ちょっと強めのコロンをつけていますが、このため「5番目」の犠牲者となる可能性があります。

## クトゥルフの呼び声

もと女顔でもあるのでよくよく気をつけないと解らないでしょう。あやめは気付いています、千秋の死にそれなりの責任を感じているのか、それを表には出しません。

東ノ宮 千鶴 10才 女

分家第4位の娘で、父親と一緒に来ています。3番目の犠牲者となります。死体はなわでぐるぐる巻きになっており、直接の死因は縄による絞殺です。特殊能力は持っていません。髪は左側をチョンチョコリーにしているショートカットです。

東ノ宮 正志 36才 男

分家第4位の現当主です。彼は何の特殊能力も持ちません。卑屈な男で、上位の家の人間が言うことには絶対服従です。彼は2番目の事件が起きた時に恐れをなして逃げようとし、結界の外に飛び出たため集まってきてた亡霊に取り殺されます。

東ノ宮 皐月 29才 女

既婚者ですが、彼女の夫は婿養子なので東ノ宮の姓のままです。2番目に発見される犠牲者です。彼女の死体は畳の上で発見されます。とはいえ、柱に鎌で固定されていますが、性格はかなりの派手好きで、ここではワインレッドのボディコン姿で登場します。化粧も濃いめで髪型はワンレンです。

マスター用情報

澗が最初にこの屋敷を歩いたときには千秋が見えて怯えるといった状況を出してください。その事を告げられた東ノ宮の人間は「ああ、座敷童ね。私も小さい頃ここで見たよ」などと告げさせてください。実際には本当の座敷童は千秋の亡霊に抑えつけられているので活動できていません。

あやめ婆さんは結界を張ったあとは痴呆のようになります。時折お手玉をもてあそんで、代々伝わる童歌を歌います。この歌はもともと人柱をたてる時に歌われた鎮め歌であるのかも知れませんが、時々思い出したように歌うので、最初から全てが聞けるわけではありません。キーパーは適宜歌わせてください。澗はこの歌をうる覚えですが覚えてます。

また、痴呆になる前にあやめには「この呼び鈴が鳴るまで敷地から1歩も出てはならん」と言わせておいてください。この呼び鈴は紐を引いてもならず、「迎えるもの」が決まった時に本当の「座敷童」が鳴らします。

「山の夜祭、祭りのカカシ カカシいなけりゃこさえましょ

ひとつめ桜でこさえましょ ここよここよとモズがなく  
枝をはらたらモズ飛んだ けれどお家は枝の上  
帰れない 帰れない

ふたつめイグサでこさえましょ 草を集めにおんも出りゃ  
原の中に立ちぼうけ 鎌を忘れりゃ刈れりゃせん

とれなかる とれなかる

みつめ藤でこさえましょ 枝を集めて縄かけて  
柱に立てればできあがり けれど藤の木小さい木  
たりなかる たりなかる

よつめ杉でこさえましょ 杉はかたい木丈夫な木  
ナタで叩いて削って裂いて けれど杉じゃ重すぎた  
はこべない はこべない

いつつめヒノキでこさえましょ 香りかぐわし作りよし  
見目がよいとて大きくこさえ 倒れりゃ祭りもおじゃんとて  
もやされた もやされた」

事件の真相

1つ目の殺人事件は千秋の亡霊に取り憑かれた澗がやったものです。千秋は格下の家柄のもの、さらには無関係な者が「鬼迎の行」を行うことが我慢なりませんでした。ゆえに遺産目当てに來た人物達を脅かして追い払おうとします。澗は憑依体質（待つもの）なのでしばしば利用されるでしょう。憑依した体を100%コントロールできるほどの力は残っていないので、あまり行動的ではありません。この時は昭夫が屋根の上という危うい立場にいたので突き落としました。

2つ目以降の殺人は千秋の婚約者であった一美がやったものです。最初の事件が起きたため、東ノ宮に伝わる童歌をもとにした殺人を思いつきました。彼は失踪中でしたが、実は千秋が死ぬ原因が「家のため」であること、他の家の者が自分を含み千秋が納得するほどの術者でなかったことなどを恨み、血族を根絶やしにかかっています。（たぶん彼が犯人であることを見ぬき、問い詰めると「こんな、こんな家にさえ生まれなければ、こんなしきたりさえなけりゃ、千秋は、千秋は…」と語ることでしょう）

一美は家にもぐりこむため、硫酸で顔を焼きました。もぐりこんだあと、台所で働いていた操を殺し、冷蔵庫にしまい、何食わぬ顔で操の代わりをしています。操の死体は解体され、毎日の食事に使われています。あまり大量には使わないのでアイディアロール 1/10 に成功しなければ違和感を感じないでしょう。彼女の死体は歌に習って4番目に発見されるようにされます。

基本的に一美の殺人は東ノ宮の分家の順位通りに行われます。それが何らかの理由で無理な時は順位を無視しますが、歌のキーワードを与える順番は無視しないことに注意してください。

2番目には皐月が狙われます。彼女は探査者たちに「殺人事件」を知らしめるための存在ですので、あからさまに殺人だと思わせる手法で殺してください。キャラクター紹介に書いてある方法が一応の例です。他にも「イグサ」、「鎌」、「野原」

を暗示させる方法なら何でもかまいません。

このあと千鶴の父親が錯乱して、門から出てゆき、亡霊に取り殺されます。車で逃げようとしたときに窓に張りついた亡霊に驚き、他の車を巻き込んで爆発炎上なんていうのもいいかもしれません。

3番目には千鶴が狙われます。彼女の死に与えるキーワードは「縄」、「藤」、「柱」です。例としては縄で絞殺した後、柱につるして藤の枝を添えるといったところでしょうか。千鶴は小さいので容易に殺されてしまうでしょう。

4番目には操の死体が発見されます。彼女は一番最初に殺されていますが、冷蔵庫の中で保存されており、状態は良好です。そのため、死体はまだ冷たく、触ることがあれば解るでしょう。死体を鑑定しても、この事実がなければ死後1日以内と判定されます。彼女の死は「杉」、「鉈」、「放置」というキーワードに彩られます。杉のまな板の上に首を切り落として置き、体をそのあたりに投げ出して、鉈を置いておくというのが基本的なところでしょう。

一美はこの時点で操としての変装を解き、どこかに潜みますが、澗を襲うのに操の変装が必要だと感じられたらそのままでもかまいません。

澗は5番目に狙われます。彼女が襲われるとすれば、「ヒノキ」に関係するところ、つまり風呂や林の近くなどです。風呂に油が流されて燃え出し、もうちょっとで黒焦げ...などのシチュエーションでもよいでしょう。

一美は犯人だとされると、1件目の事件を持ち出します。これは澗がやったものだ。

一方、澗はその間の記憶がなく、これを否定します。事実は澗を操った千秋の亡霊が行ったのですが、誰も知りません。この時、告発の衝撃により隙のできた澗の心に千秋が入り込み、高笑いをあげます。「そうよ、あたしができなかったのよ。だけれも、だれもできないわ「迎えるもの」など。あーっははははははっ」と。

一美も千秋（澗）も取り押さえられてしまったら、一美は全てを呪いながら叫ぶでしょう。これに応じて、「あちら側」から、イゴールナクが召還されてしまいます。そう、本家が崩壊した時と同じように。

本家が崩壊した理由はあやめと朱月弁護士が知っていますが、どちらも積極的に話そうとしません。それは本家の兄弟が愛蔵の末、弟が兄を殺し、その恋人を殺そうとした憎しみのためにこの場面と同じくイゴールナクを呼んでしまい、同時に主を失った術洞が「死んだ」ためなのです。

これを感じたあやめは、痴呆状態でありながら、おぼつかない足取りですが一美に近づいてゆきます。そして、「そうかい、辛かったかい。おまえも千秋も」と言って何らかの呪文を唱えるとブラックホールのように消えてゆきます。これにイゴールナクも千秋も吸い込まれ、結界はやがて消えてゆきます。

もし探索者たちが、桂木天が「迎えるもの」であることを発見し、彼に励ましを送るのなら、ここは彼が送還術を使い（あやめ達が補助します）あやめは死ななくてすみ、一美も元に戻ります。この場合呼び鈴が鳴り、結界は解けるでしょう。

結界が解けた時、本シナリオは終了です。この後、警察を呼ぶが、東ノ宮の力でもみ消すことになり、後始末をしていると、セカンドサイトを持っているキャラクターの誰か（探索者にいなければ澗）が、「おや、これが本当の座敷童？」といったとき、むかしの子供のような霊が足元のでっばった釘などを注意してくれます。その後座敷童は向こうにかけて行き、そこには座敷童と戯れる千鶴の姿があるでしょう。

- ・東ノ宮家：鬼哭招術を使う一族の末裔。天皇家召抱えの時期もあり、現在でも権力者に対する力は大きい。本家の地下には巨大な術洞があり、あやめの結界はその状況を一時的に作り出すものです。具体的には、あちら側の世界から無差別に進入できないようにすること、こちら側からの呼びかけを行いやすくするという機能を持ちます。一美が憎しみを膨らませた時にイゴールナクが現れるのも、この結界の力によるところが大きいでしょう。

- ・鬼哭招術：神話怪物を召還・コントロールする術法の一つであり、ルーツは東南アジアの呪術といわれ、語源はキナ招術といわれています。キナとは、東南アジアのある部族の言葉で「悪魔」を指す言葉であり、そこから「鬼哭」のじが当てられ、この名がついたようです。平安時代に確立されたこの呪法は陰陽道などと張り合うだけの力を持っていましたが、天皇家が召抱えたため表の歴史から抹消されたと考えられています。ちなみに仙台にひっそりと伝わる古流術「鬼哭掌」とは関連はありません。

# クトゥルフの呼び声

データセクション

東ノ宮 屋敷

